

離婚寸前の元ラリー経験者が、立てこもり  
犯に捕まった妻子の救出をして、離婚危機  
を回避する話

## ラリー・ザ・石焼き芋

登場人物表

サトル (40)

雪原ラリーの、コ・ドライバーをしていた。現在石焼き芋屋。

明美 (38)

悟の妻。

たくや (5)

悟の息子。

ノリさん (59)

ベテラン石焼き芋屋さん。

犯人 A

たてこもり犯。

犯人 B

犯人 C

警官たち

特殊班たち

ドライバー

○雪原、吹雪（回想）

真っ白い世界の中をゆくラリーカー。  
ペースノートを見ながら助手席のサトル（40）が叫ぶ。

サトル「L3、40！　すぐR2、キープ120！」

ドライバー「そんなの聞いてねえぞ！　今どこ走ってんだよ！」

サトル「大丈夫だ！　こっちの方がいいんだ！　リバースL1！」

ドライバー、ハンドルを切る。

雪で段差が見えず、横転する車。

ひっくり返る車内。

○石焼き芋トラックの運転席、公園前、冬

ノリ（声）「オイ…オイ！」

ハッと脂汗を浮かべ、眠りから覚めるサトル。

ノリ（59）「うなされてたぞ」

サトル「すいません。…（起き上がりながら）そろそろですか？」

ノリ「ああ。ラッシュだぞ」

サトル、車から降り、ポーと笛を鳴らし、拡声器でアナウンス。

サトル「いーしやーきーいもー」

公園前に停めた二人の焼き芋トラックに、部活帰りの高校生たちが両手を白い息で温めながら群がる。  
飛ぶように売れる石焼き芋。

○石焼き芋トラックの運転席、移動中

サトル、ゆっくり運転しながら。

サトル「次は買い物帰りの主婦狙い、十八時ゼロゼロ、と行ったとこですか」

ノリ（助手席）「あんちゃんが入ってから、正確な時間に巡回するようになったなあ」

サトル「まあこれでも、一応元凄腕ラリー屋

なんで」

ノリ 「…なんで辞めたんだ？」

サトル 「事故で…。トラウマってやつですよ」

○別の公園で売る石焼き芋トラック、夕

忙しく主婦たちをさばく二人。

サトル 「(気づく)」

買い物かごを落とす明美(38)。

手をつなぎ、心配する息子たくや(5)。

明美 「…会社勤めをしてたんじゃ…ないの？」

サトル 「…ちよっと待って。…話、聞いて」

明美 「…毎朝着てった、スーツは…？」

サトル 「…」

作業用の汚いジャンパーを脱ぐと、中はスーツのまま。

明美 「どうして？ どうして言ってくれなかったの？」

サトル 「…すまん…言うタイミングがなくて…」

明美 「ずっと騙してたの？」

サトル 「…石焼き芋屋って、案外面白いんだ

よ？ 石の様子を見ながら、時間通りに町を巡るんだよ…」

明美、たくやを連れ走り去る。

サトル 「…」

○サトルの家、夜

消えた電気をつけるサトル。

テーブルの上に置き手紙。

手紙 「しばらくたくやと一緒に、実家に帰ります」

サトル 「…」

抱えた石焼き芋の袋を落とす。

○翌日、石焼き芋トラックの運転席、移動中

ノリ 「嫁さんに見られたのは、まずかった

ねえ」

サトル「…黙ってた俺が悪いんすよ」

ラジオのニュースが。

ラジオ『群馬県婦恋のロッジに立てこもった犯人の続報です。犯人の人数、人質の人数は依然として不明ですが、宿泊者名簿から、少なくとも次の方たちが人質とみられます。光吉明美さん、光吉たくや君…』

サトル「えっ」

ノリ「どうした？」

サトル「…嫁さんの実家、婦恋なんです…」

○停車した運転席、住宅街

ナビのテレビでニュースを見る二人。

明美とたくやの写真が出ている。

ケータイをかけているサトル。

サトル「ダメだ…ケータイもメールも出ない」

石焼きを中止する（火を止める？）ノリ。

サトル「…何やってんですか？」

ノリ「…行かなきゃ、婦恋」

サトル「…ハイ！」

○国道X号、大雪の渋滞

だが大雪で国道が動かない。

石焼き芋トラックは、大雪渋滞に捕まっている。その運転席で。

サトル（助手席）「なんなんだよ！ この雪で全然動いてないっての？」

ノリ（運転席）「あれ、警察の特殊車両かな」

バックミラーに映る、警察特殊車両。

同じく渋滞にはまっている。「特殊部隊」の名も。

サトル、助手席で地図を見ていて気づく。

サトル「ここの野原と森を突っ切れば、ショートカット出来る」

ノリ「馬鹿言うない。こんな軽トラで行け

る訳ねえだろ」

サトル「雪国では、宅配便配送のトラックも、あんな感じでキャタピラ履くことがあります」

国道脇にそんなトラックが停まっている。

○同、警察車両に直談判

地図を警察に見せながら言うサトル。

サトル「このルートが早いでしょう？ この大雪だ！ この渋滞は全然動いてない！一刻も早く人質を救わなきゃ；あのロτζジでは、俺の妻と子が、人質に取られてるんです！」

警察車両のナビのニュースでも、実況中継が入っている。

責任者「：たしかに地図上では近道出来そうだが…」

サトル「俺が先導します！」

ノリ「あんちゃん、何言ってるの！」

サトル「俺、雪原専門のラリードライバーだったんです！」

○雪原へ出発、猛吹雪

石焼き芋トラック、四輪がキャタピラに換装されている。

サトル（運転席）「おやっさんは、コ・ドライブーお願いします」

ノリ（助手席）「地図見ながら、指示出しやいいんだな？」

サトルうなづいて、エンジン始動。

○猛吹雪、雪原を行く車両たち

キャタピラ石焼き芋トラックを先頭に、警察特殊車両が雪原に行く。

○同、トラック運転席

トラックの視界は殆どゼロだ。

サトル「俺、ずっとコ・ドライバーだったんですよ」

ノリ「そうかい。そこを右だな」

サトル「：今なら分る。ドライバーは先が見えないから、コ・ドライバーを信用するしかないんだって：」

ノリ「森が切れたら、左だ」

サトル「俺、レース中に途中で勝手にコースを変えたんすよ。そっちの方が早いって一人で思って。それで計画が狂って、俺たちは崖から落ちて大怪我。即引退ですわ」

× × ×

× × ×

× × ×

× × ×

× × ×

× × ×

サトル「妻にも何も言わず、俺は勝手に：」  
ノリ「大丈夫だよ。俺ルート変えるほど知識ねえよ。さっき警察と確認したルート走るだけだよ」

サトル「知ってました？ ラリーって元々、『集まって協力する』って意味なんですって。引退する前に知りたかったなあ」

視界が開けてくる。

サトル「森をぬけて：」

ノリ「左だ」

そこはロッジの立てこもり現場。

マスコミや野次馬が集まっていて、警察が止めている。

○ロッジ、外

狙撃されないように窓に身を隠し、外の様子を伺う犯人A。

拡声器「いーしやーきいもおー」

と、緊張したロッジ前に、間抜けにも

石焼き芋トラックが入って来る。

犯人A「なんだあ！（銃を向ける）」

サトル、トラックから降りて石焼き芋  
を見せる。

サトル「差し入れですよ。人質もおなかすい  
たでしょう。僕も人質になります」

犯人A「ハア？」

それを中から見た明美とたくや。

たくや「(小声で)パパだ！」

明美「(小声で)しっ！…どういうこと？」

外では交渉が続く。

サトル「芋、何人分かりますか？」

犯人A「その手に引っかかるか！…あるだ  
け、持ってこい！」

○ロッジ内

犯人B、扉を開ける。

石焼き芋を大量に抱えたサトル。

サトル「まいどー！ちよつと冷えちゃった  
んで、石焼き用に暖炉借りますね！」

サトル、あたりを見まわす。

奥に暖炉が。

犯人B、銃をつきつける。

犯人C、身体検査。

縛られている人質たち。その中に明美  
とたくや。

サトル、暖炉に石焼き用の石を入れ、  
新聞紙の芋とともに、暖炉にくべる。

そのとき白い石をポケットから出して  
三個混ぜる。

× × ×  
サトルも縄でしばられる。

犯人たちは順番に芋を食べる。

明美、サトル、小声でしゃべる。

明美「…なんでこんな所に！」

サトル「ニュースで見たから」

明美「だからって！」

サトル「…焼き芋屋になるって相談しなかつ  
たのは、悪かった。でも事故のトラウマで、  
運送屋もタクシーも無理だった。ハンドル  
握れなくてさ。石焼き芋屋なら、遅いのが

幸いしたんだ」

明美 「…」

サトル 「ごめん。これからは計画をちゃんと言うよ」

明美 「…」

サトル 「でも、言えないのがあってね…」

明美 「？」

犯人B 「そこ、うるせえぞ」

と、暖炉の三つの石が、ぱん、ぱん、ぱんと跳ねる。

犯人B 「？」

ロッジの外に待機していた警察たち。

責任者 「犯人は三名、確定だ！ 焼き芋屋から合図！」

屋根の上の特殊部隊、うなづく。

責任者 「突入！」

屋根の上からワイヤーで降り、ロッジの窓を破り突入する特殊部隊。

○雪原を石焼き芋トラックが帰る

運転するノリ。

助手席にはサトル、明美。サトルの膝の上にたくや。

サトル 「焼き石を下焼きしないとき、割れて使えもんになんないんだよ」

明美 「へえ」

サトル 「俺初日にそれやらかして、ノリさんに怒られたなあ」

ノリ 「ははは。まさか暗号に使うなんてな」  
国道沿いには普通の住宅街。

サトル 「ついでに、この町で商売して帰りま  
すか。まだ余ってたでしょ」

たくや 「パパ！ 俺、やってみたい！」  
と、拡声器のマイクを見る。

サトル 「ははは。よし、たくや、明美も。一  
緒にやろう」

明美 「え？」

サトル 「レッツ・ラリーだ」  
三人、マイクに向かって。

三人

「いーしやーきいーもー！  
ポーと笛がなる。」